



編集後記

市章のデザインは、栗原市の頭文字、ひらがなの「くり」をモチーフにしたもの。緑色は、自然たっぷりの田園都市をイメージし、中央の形は栗原の象徴「栗駒山」と、米どころの作物「お米」を合わせて表現されています。

今回の取材を通じてこの市章のカタチが、家と居久根（いぐね）の関係にも似ている気がしてきました。居久根とは、宮城県を中心とした地域の、屋敷林の呼び方です。

「居」＝家、「久根」＝地境であり屋敷境の意味があります。

屋敷の北西側に配置されスギ、ケヤキ、ハンノキ、クロマツの四種の高木が居久根の骨格であり、これらは高さ20m以上に達します。

くりはらツリーズネットワークの大場寿樹さんが「山をもたない人のための、ちいさな山」と表現されていたのが印象的でした。居久根のように、パッと見ただけではわからないような先人から伝えられた生活の知恵が、栗原にはいっぱいあります。

ぜひよく目をこらして栗原の魅力を探してみてくださいね。



2015年9月

発行／宮城県栗原市

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

電話：0228-22-1125

モデル ペナルティ ワッキー

佐藤あかり（栗原市在住）

プロデュース 前原まさみ（株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー）

デザイン・イラスト オガワユミエ

撮影 ロン・セレスティン、弘西昭宏（CONTROLless LLC）

編集・執筆 狩野哲也（狩野哲也事務所）

本書のテキスト、写真などを無断で複写、転用することを禁じます。

本書情報は2015年8月末現在のものです。